

郷土の偉人・大島有隣
— 石門心学 入門④ —

大本山参前舎の発展と相俟って、慎行舎（日本橋茅場町）、盞簪舎（四谷伝馬町）、圭明舎（芝愛宕山下）など、心学普及のための施設が相次いで江戸府内に設けられました。だからといって、中沢道二の心学教化活動が、江戸や関東に限られたわけではありません。道二の遊説は、時習舎を拠点に普く関西エリアに展開されたほか、九州を除く諸国津々浦々にも精力的に拡大されています。そうした道二の教化活動の中で、特に注目すべきことの一つに、武士階層、武家社会にも新たに受け入れられていることがあります。播州山崎藩をはじめ、近江大溝、丹波亀山、同柏原、下野足利、陸奥泉など、約十藩に及ぶ藩侯や奥向、家中（大名家臣）、旗本御家人等が、道二の話に進んで耳を傾けるようになったのです。心学を創始した石田梅岩の時代は、町人や百姓の学として、心学を軽視する風潮があったと言っても過言ではありません。ところが、道二の時代になると、心学が人間の学として、万人に通ずる道であ

ると認識されるようになったのです。

実際、道二は、「寛政の改革」で知られる時の老中松平定信の信を得、佃島にある人足寄場の教諭方となり、永年にわたり、日雇労働者等の教化にもあたっています。当時の百万都市江戸にあって、大勢の日雇労働者が職を求めて蟻集していたのです。後に大島有隣も人足寄場教諭方を務めています。道二や有隣は、一体彼等に何を説いたのでしょうか。（つづく）

※奥向：江戸時代、城内で大名の私的な事務を司る役職の人。

※人足寄場：江戸幕府が幕臣長谷川平蔵の献策により設置した浮浪人收容所。寛政二年（一七九〇）、老中松平定信が無宿人や引き取り人のいない刑余者を收容して生業を授けたことに始まる。



『江戸名所図会』より佃島其二（人足寄場は図中の右上段に描かれている。）

（社会教育課 町史・文化財担当編）

みんなでつくる 愛される図書館②

問合せ 町立図書館 ☎ (33) 4056

図書館は、どんな資料があるの？

図書館では、皆さんにご利用いただくために、様々な資料を約20万点所蔵しています。

- ①本 通常の書籍以外にも、絵本（通常・大型）、紙芝居（通常・大型）、点字本、大活字本、コミック等と様々なものがあります。1人10冊まで借りることができます。
- ②CD・DVD・絵画 CD・DVDの一部や絵画については図書館カウンターや事務室内で保管していますので、借りたい場合はカウンターにお声がけください。CD・DVDは合わせて1人3点まで、絵画は1人1点までとなります。CD・DVDは館内の視聴覚コーナーでも視聴できます。

- ③雑誌 最新号は借りることはできませんが、それ以前のものに関しては借りることができます。1人3冊まで借りられます。

- ④電子書籍（杉戸町電子図書館） お手持ちのスマートフォン、パソコン等から電子書籍を閲覧できます。



代表的なものは以上となりますが、その他詳しく知りたい方はぜひ図書館にお尋ねください。



UD FONT by MORISAWA
ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町ホームページ



メール配信すきめー



広報スマホ版マチイロ



杉戸町公式LINE